

# 教育センター学びの丘長期研修員研修の概要について

海南市立内海小学校  
教諭 石川 貴

和歌山県教育センター学びの丘における長期研修員研修は、教育に関する専門的・技術的事項について研修し、教職員としての資質能力を高めるとともに、今日的教育課題解決のための研修・研究を行い、その成果を本県教育の充実に生かすことを目的とし、実施されている。言うまでもなく、教員は絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。研究とは「物事を詳しく調べたり、深く考えたりして、事実や真理を明らかにすること」、修養とは「知識を高め品性を磨き、自己の人格形成につとめること」(『大辞泉第2版』2012, 小学館)とある。

今回、長期研修員研修を「自己の専門性をより向上させるための研究と、教員としての資質を広く高める修養の機会(下図参照)」として捉え、1年間研鑽を積むこととなった。研修期間中は、センター等が実施する多岐にわたる研修講座や指導主事等による「研修員研修」の受講、所属校における学校課題解決のための校内研修への参加等をとおして、幅広く教員としての資質能力の向上を目指してきた。

長期研修員研修では、初任者研修、10年経験者研修、専門性の向上を目指す研修、研修員研修、研修員トレーニング等多くの研修やトレーニングを聴講または受講してきた。これらのうち、10年経験者研修には、ミドルリーダー育成という観点での研修内容が含まれていた。来年度、本県教員の年齢構成のうち半分近くを占める50代に私も仲間入りをする。そんな中、層の薄い中堅層を補うため一役買えるようにと真剣に受講した。また、専門性の向上を目指す研修では、選択講座のうちから13講座を受講した。次期学習指導要領改訂に向け、「特別の教科 道徳」、「主体的・対話的で深い学び」について等、学校での実践の支えになるものばかりであった。これ程多くの研修を1年間に受けた経験はなく、長期研修員制度の意義を感じると共に、4月以降現場に還元していかなければならないと気の引き締まる思いである。

研究については、設定したテーマの研究に直接関わることの他にも、自身の授業改善につながるものが多く、これまでの教育実践を振り返るよい機会となった。

なお、自己の専門性を向上させるために、年間を通して行った研究については、別途「研究報告書」としてとりまとめることとする。

段階	第1段階 基礎期	第2段階 向上期	第3段階 探究期	第4段階 充実期	第5段階 修了期
月	4月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～1月	2月～3月
研究	・研究テーマ、方向性を設定し、第1回報告会で発表	・所属校での授業研究に向けた単元計画、資料等の作成、模擬の授業実施	・授業・研修研究計画を立て、第2回報告会で発表 ・授業研究の実施	・授業研究で収集したデータ分析 ・和歌山教育実践研究大会で発表	・研究報告書、資料の作成
所属校研修「所属校との連携・研修成果の還元」					
修養	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「授業力」「学校組織開発力」「校内研修運営力」向上トレーニング</li> <li>■専門性の向上を目指す専門研修講座等受講</li> <li>■初任者研修、10年経験者研修等聴講</li> <li>■学びの丘指導主事等による研修員研修</li> </ul>				

図 研修の概要